進路だより

２０２５年１０月２３日（木）

Ｖｏｌ．37　第２９号（通巻 1375 号）進路指導部

「第一志望校合格」のための併願のプランニング～第2弾

２７号(１０月９日付)に引き続き、『成功する併願プラン』の立て方を考えます。

４．国公立大学への出願

1）　**共通テストの得点の基準を決めておく。**

「目標通り」「思うようにとれなかった」の2通りを考えておく。

2）　**受験チャンスを増やす。★3科目以下で受験できる大学も(金沢大総合文系、高崎経済大地域政策)**

後期日程:倍率が高そうに見えるが実際は**当日の欠席率(2025年3月は、61.7%)**は高く合格しやすい大学は多くある。見かけの数字に惑わされない。

中期日程：高崎経済大学(経済学部)、静岡県立大学、大阪公立大学(大阪市立大学と大阪府立大学が統合)なども教育内容がとても良く、少人数で丁寧な指導を受けられる。

3）　**後期入試の特徴**

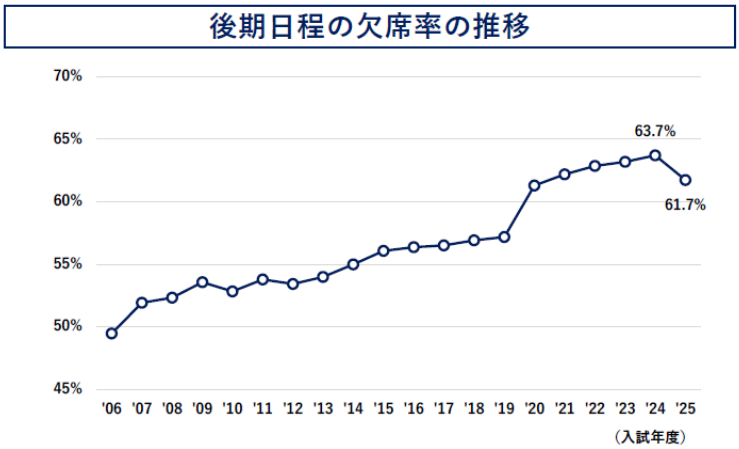
①　入試当日欠席率は，　**60%を越えている!!**

志願倍率は高いが、実質倍率は思ったより低い!!

★前期合格や難関私立大に進学を決めた人が抜けていく。

②　**合格者は，募集定員より多め**

★　**前期合格者のうち入学手続きを取らなかった人数分を後期で充足するため**



などが挙げられる。学びたい大学・学部・学科に後期入試があれば出願しよう。

●国公立大学 2025 年後期入試状況

＜埼玉大学(工・応用化学＞

募集	50名	志願者	308名
受験者	141名	合格者	68名
実質倍率	2.1倍(前年1.5)		

＜筑波大学(応用理工)＞

募集	19名	志願者	119名
受験者	42名	合格者	23名
実質倍率	1.8倍(前年1.8)		

＜千葉大学(法政経)＞

募集	65名	志願者	832名
受験者	336名	合格者	77名
実質倍率	4.4倍(前年3.8)		

●2025 国公立大中期･後期現役合格者　9名

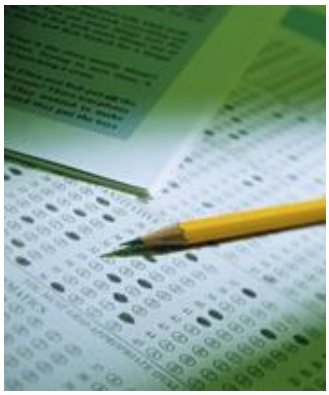
埼玉大 3、千葉大1、東京農工大2、電気通信大2、北見工業大1

●2024国公立大中期・後期現役合格者　15名

埼玉大8、千葉大1、東京農工大1、筑波大2、福島大1、鳥取大1、高崎経済大1

11月1日（土）は最後の全員受験模試

① 本番のシミュレーションをする



今週土曜の模試が、学校で全員が受験する最後の模試です。前回までとは少し意識を変えて受験してほしいと思います。

まだシャープペンシルでマークしている人はいませんか？本番では、シャープペンシルはメモや計算のみで、マークは**黒鉛筆**です。今回の模試では、必ず本番同様に黒鉛筆でマークしましょう。

また、H・F・HBのどの濃さが自分に合っているのかを塗ることで確認しましょう。消しゴムは、しっかりマークの消えるプラスチック消しゴムを使ってください。きちんと消えていないと、その解答は無効になってしまいます。筆記具にも、注意を払ってほしいと思います。

それから携帯電話やスマートフォンも必ず電源を切り（マナーモード不可）、かばん等にしまいましょう。

＜参照＞大学入学共通テスト受験案内P48～の「受験に当たっての主な注意事項」

(1)試験当日の注意事項(2)試験時間中の注意事項(3)不正行為、などの項目は必読。

② 受験科目に注意～9月共通テスト模試では、マークミスあり!!

今まで、受験科目が足らず、判定がでなかったことはありませんか。今回は、そういうことがないように、しっかり志望校の科目を確認して受験してください。**国語の場合**、現代文のみなのか、現代文・古文なのか、現代文・古文・漢文が必要なのか、しっかり考えて、判定に悔いの残らないようにしてください。

また、**数学の場合**、「数学Ⅰ」と「数学Ⅰ・A」はそれぞれ同じ冊子に印刷されています。「数学Ⅰ・A」が必須な人が多いと思いますが、間違って「数学Ⅰ」を解かないように注意してください。さらに**地歴・公民、理科で２科目受験する場合**、どちらが有効なものかを意識し、自分の受験する大学の取り扱いをよく考慮してあらかじめ順番を決めておいてください。

③ 自己採点を正確にする

本番で自己採点が間違っていると、判定も誤ったものになってしまいます。自己採点は、非常に重要です。どのようにしたら、自己採点の精度をあげられるか考えて取り組んでください。問題用紙に〇をして、マークシート用紙にマークし忘れたなどということのないようにしてほしいと思います。